

活動の概要

タイトル

ゼロポイントがつなぐ地域交流

活動の背景や目的、活動内容について（200字程度）

青木一区農地水環境保全対策委員会は那須塩原市青木地内に位置し、活動区域内には国内及び関東でも珍しい「ゼロポイント」がある。青木地内に存在するものは「那須野ゼロポイント」と呼ばれ、地域振興に役立てるために約20年前住民たちによる実行委員会が発足した。多面組織としても、地域小学校等へゼロポイントでの見学案内や看板などの設置、ビオトープの植栽や定期的な草刈りなどの保全管理活動を行っている。

活動の特徴や地域との繋がりについて（150字程度）

活動範囲内の小学校と連携した「田んぼの学校」等の活動に併せてゼロポイントを案内するなど、小学生たちに、なお一層地域のことを知ってもらうきっかけのひとつとなっている。また、ゼロポイントがある広場で「青木のどんどまつり」と称したどんど焼きを実施することで、地域住民が集い、昔を懐かしみながら心を繋げる手助けとなっている。

活動の効果波及について（150字程度）

日本は全国的に山岳が多いため、那須野ゼロポイントのように「場所が整備されていて（ゼロポイントに）立てる」こと自体が貴重であり、青木地内に限らず市内の他地区及び、市外の方も訪れるいち観光スポットになりつつある。地域内のお祭りでもこのゼロポイントが利用されることから、組織内においても保全活動等の意欲向上にも一翼を担っていると言える。

推薦理由（200字程度）

青木一区農地水環境保全対策委員会では、活動範囲内に県内でも他にない「ゼロポイント」を有していることにより、多面組織のみならず学校や自治会、育成会等を通じた保全活動やイベントが活発に行われている。

今後とも、国内でも数少ない立入りができるゼロポイントの保全及び、それによる地域内ひいては地域外をも巻き込む交流の創出を期待したく、推薦する。